

2013春闘セミナー開催！

格差を生み出す人事賃金制度を改善し、 ベア要求2000円を満額勝ち取ろう！

JR東海労は、3月3日東京都・浜町区民館において、組合員100名が参加し、春闘セミナーを開催しました。名古屋地本からは、10名の組合員が参加し、春の闘いを創り出す決意を打ち固めてきました。

提起された課題

- (1) 3・11東日本大震災当時に福島原発関連企業で働いた労働者の体験談
- (2) 新幹線地本東二運分会斉藤書記長への報復処分撤回裁判の意義と教訓
- (3) 当面する春の闘いについて

涙ながらに体験談を語る原発労働者

福島原発労働者の体験談は、職を失った苦しみ・避難生活での苦闘・放射能汚染に対する不安と恐怖など生々しい講演がされました。ときおり講演途中で声を詰まらせ涙ぐむ姿に参加者一同一瞬、静寂に包まれました。

完全勝利にむけ控訴して報復裁判を闘おう

報復裁判は、1月23日処分撤回の勝利判決を勝ち取りました。しかし酒気帯の認定や、デッチ上げの根拠になった労働組合敵視の労務政策、不当労働行為に対し、裁判所は斉藤書記長の請求を認めませんでした。完全勝利向け、控訴審で闘うことを確認しました。

要求実現にむけ団体交渉を強化

春の闘いでは、要求実現に向け団体交渉の強化と、専任社員の労働条件の改善をメインに取り組みます。その他、掲示物不当撤去に対する取り組み、リニア中央新幹線建設に反対する運動の拡大、改憲に反対する行動など、春の闘いと結合し取り組んで行くことを全体で確認しました。最後に各地本が決意表明を行い、名古屋地本を代表して荻野書記長が共に闘う決意表明をしました。

私たちは要求実現に向け春の闘いを闘い抜く！